

地産地消を推進  
 〓 おおず農産物お見合い事業 〓

7月14日(木)、市内の農家と飲食店などが交流する「おおず農産物お見合い事業」が開催されました。この事業は、規格外などの理由により、今まで取り扱いされていなかった農産物の新たな需要の掘り起こしと流通促進を目的としたものです。この日は、市内の農家6人と飲食店など8店舗11人が参加しました。

初めに、オフィス ナチュレ natural代表 藤山健さんから、「中予農産物おみあいプロジェクトの現状について」をテーマに講義がありました。その後、ビストロサンマルシェ



による事例発表と、農家と共同開発した杓きねつき餅カレーの試食会があり、同店シェフの奥田広司ひろしさんは、「13年前にお店をオープンし、10年目の節目の年に地産地消のお店に変更した。今後も大洲で間口を広げていきたい」と話されました。

農家と飲食店の交流会では、農産物の取り引きなど商談が行われ、参加した農家の加藤嗣範そののりさんは、「旬の野菜を届けたくて、飲食店や個人に配達している。人とのつながりを大切にして続けていきたい」と話されました。

## 次代へつなぐ大洲の伝統食

7月9日(土)、「第3回大洲農高生と大洲市生活研究会による大洲伝統食の継承プロジェクト」が、大洲市総合福祉センターで開催されました。

このプロジェクトは、大洲の伝統食を継承するとともに、大洲産の農林水産物の6次産業化に向けた知識と技術の習得を図る目的で、昨年度より行われています。過去のプロジェクトで試作された豆腐の田楽とイカの丸寿司は、生徒たちの手でアレンジが加えられ、「えひめいやしの南予博2016」の「高校生ワンプレートランチプロジェクト」にて発表されるなど、着実に形となって現れています。



この日は、講師である生活研究会員6人と食品デザイン科の7人が、いりこさつま、魚の唐揚げ野菜あんかけなど4品を試作しました。3年生の中野友華ゆかこさんは「さつまは作るのも食べるのも初めて。過去の試作品のなかで、手軽にできるものは自宅でも作ってみたので、今回も挑戦したい」と話されました。



## 2年連続で全国大会へ

7月20日(水)、15歳以下で構成する女子サッカーチーム「愛媛FCレディースMIKAN」の大洲出身選手7人が、市長を表敬訪問されました。レディースMIKANは、6月の四国大会で準優勝に輝き、昨年に続いて2回目の全国大会出場を決めました。

FWの今藏<sup>あやの</sup>綾乃<sup>フワード</sup>さんは、「全国大会では、まず1勝したい。走って点を取り、チームのために貢献したい」と意気込みを語られました。



## 今年も海シーズン到来

長浜海水浴場で7月15日(金)、地元の観光関係者ら25人が参加して、海開き安全祈願祭が開催されました。神事後、海を御神酒で清めて玉串を投げ入れる「海水浴場清めの儀」が行われ、海での安全を祈願しました。

その後、招待された長浜保育所児童26人が、晴れ渡る空の下で波と戯れ、夏を満喫していました。



## 肌で感じるふるさとの川

7月24日(日)、大洲水泳協会による夏季水泳学校開校式が、肱川橋下流河原で開催されました。川を利用した水泳教室は全国でも珍しく、今年は7月31日(日)までの8日間に6歳から12歳までの23人が参加しました。

子どもたちは開校式の後、早速準備体操を行い、泳力ごとに分かれて水中遊びやクロールの練習などに励んでいました。



## 市民に愛される河原へ

7月16日(土)、肱川流域会議水中めがね主催による第15回「肱北河原攻略」が開催され、雑草が生い茂る河原で151人が参加して一斉に除草が行われました。

ジュニアトライアスロンや花火大会などのイベントで利用されるほか、大洲城を望む景観スポットである河原をきれいにしようと、参加者は日差しが照り付けるなか、汗を流しました。



## ええモン発信で大洲をPR

7月22日(金)、平成28年度「大洲ええモンセレクション認定書交付式・認定品発表会」が、料苑たる井で開催されました。今年度は、更新を含め14事業者の22品目が優れた大洲産品と認定されました。

清水市長から各事業者に認定書が手渡され、事業者を代表して村田耕一さん(村田文福老舗)は「常に探究心を持って、自慢の逸品を生産作り続けたい」とあいさつされました。その後の試食会では、招かれた関係者らが、認定品のおいしさに舌鼓を打っていました。



## 自分の限界に挑戦

8月7日(日)、肱川河川敷で「第22回大洲ジュニアトライアスロン大会」が開催されました。肱川を使った大洲市ならではの大会に、小学生から高校生までのジュニアアスリート121人が市内外から集いました。

参加者は個人の部と3人一組の駅伝の部に分かれ、気温35度を超える猛暑のなか、スイム・バイク・ランの各種目に挑戦し、タイムを競いました。



## 第16回 大洲扇面の美展 ～山荘画廊～

7月10日(日)、第16回大洲扇面の美展表彰式が、山荘画廊で開催されました。市内外より多数の作品が寄せられ、会場には個性豊かな作品が展示されました。入賞したみなさんは次のとおりです。(敬省略)

**会員優賞** 増田 ツヤ子 稲垣 章 橋田 静湖 澤山 繁子 山中 智

### 鴨川の部

- ▽最優秀賞
- ▽優秀賞
- ▽大洲市長賞
- ▽大洲商工会議所会頭賞
- ▽佳作



鴨川の部 最優秀作品「鞠」

- 越智 千春
- 上甲 幼子
- 中村 宗則
- 川本恵美子
- 吉岡ゆき子
- 村上 義隆
- 清水香緒里
- 西尾 明子
- 村上 千幸
- 大澤 弘美
- 原 京子

### 夏扇の部

- ▽最優秀賞
- ▽優秀賞
- ▽大洲市長賞
- ▽大洲商工会議所会頭賞
- ▽佳作



夏扇の部 最優秀作品「おはなはん通り」

- 山田 勝利
- 山本 智子
- 広沢さかえ
- 長谷部総子
- 中村よし子
- 増田 光良
- 富永 政江
- 後藤 明弘

大洲市を守る消防団員の活動や取り組みを、シリーズでご紹介します。



第29回愛媛県消防操法大会が、7月31日(日)、松山市の愛媛県消防学校大規模グラウンドで開催され、小型ポンプの部へ大洲市消防団正山分団と予子林分団が出場しました。小型ポンプの部には、県内各地域の予選を勝ち抜いた17チームが出場し、日頃の訓練の成果を競い合いました。

競技の結果、正山分団は5位入賞、予子林分団は11位となり、正山分団の思田亮さんが個人表彰を受賞されました。

長期間にわたる訓練お疲れ様でした。

## 正山分団5位入賞

### 第29回愛媛県消防操法大会 小型ポンプの部



5位に入賞した正山分団選手のみなさん

#### 【出場選手紹介】(敬称略)

##### ▽正山分団

指揮者 山田 耕志  
 1番員 中岡 敦志  
 2番員 福山 浩詞  
 3番員 思田 亮  
 補欠 北田 洋平

##### ▽予子林分団

指揮者 久保 辰介  
 1番員 東 慶一郎  
 2番員 畑山 信仁  
 3番員 清水 修  
 補欠 東 明秀

## 文化財



末永家住宅百帖座敷  
 国登録有形文化財  
 大洲市所有

末永家は、代々長浜で回漕業を営んだ長浜きっての資産家です。明治期の当主で本住宅の建築主である末永四郎平は、長浜財界の大御所とも言える人物で、長浜町長も歴任しました。

本住宅内にある百帖座敷は、木造平屋建てで末永家の接客用の建物と考えられます。18畳二間続きの座敷と5畳の付属室からなり、内部には、手の込んだ折上げ格天井や洋風の照明器具などが見られます。かつては、渡り廊下で繋がった茶室棟なども備えていました。建築年代は、襖絵の署名に記された昭和2年ごろと考えられます。

当時このような間取りの建物はあまり例がなく、地域の公民館的役割の建物として、公共建築の変遷を考えるうえで貴重な建物といえます。

(平成15年1月31日登録)

## 野鳥



コアオアシシギ  
 (小青足鷗)  
 チドリ目 シギ科  
 全長24cm

白い細身の体に細長いくちばし、セイタカシギを凝縮したような姿のシギで、県内でもまれに現れます。

お盆を過ぎるころ、シギ、チドリたちは繁殖地のシベリアから南半球へ移動(渡り)を始めます。少しの水たまりがあれば、上空を通過している野鳥たちが、しばしの休息のため、舞い降りてきます。大洲でも、理解ある地主さんのご協力により、「夏水田んぼ」と題して、休耕田に水を張って渡り鳥の中継点を確保しようと活動が行われています。

このような活動が全国に広がれば、希少種のコウノトリはもちろん、近い将来大洲上空にも、トキやツルが舞う日が訪れるかもしれません。

NPO法人かわうそ復活プロジェクト

## 大洲市消費生活相談窓口通信

## 再び増加「架空・不当請求」に気をつけて

近年、減少傾向だった「架空・不当請求」が増加しています。最近の窓口を紹介します。

## 【架空請求の窓口】

①突然携帯（スマートフォン）に「有料サイトの未納料金が発生。本日連絡ない場合は法的手続きに移行する」または「退会確認が必要。至急連絡を」などの内容のメールが届く。

②メールに記載がある電話番号に電話すると「裁判手続きになる」などと、料金支払いを急がせる。

## 【不当請求の窓口】

①無料と思ってタップ（クリック）すると、登録になり、高額な料金を表示される。

②画面上でカウントダウンが開始される、あるいはカメラのシャッター音が聞こえ、顔写真が撮られたのではないかと不安にさせるなどして、連絡させようとする。

## 【架空・不当請求共通の窓口】

▽不安にさせて、連絡させる。

▽自動的に「186」番号が貼り付けられ、相手に電話番号を教える設定になるものもある。

▽「本日中午に～」などと急がせる。  
▽コンビニのネットプリカ（ギフト券など）購入や、現金自動支払機（ATM）に誘導され、現金送付（直接受け取りも有）を指示される。

## 【対処法】

## 架空請求の場合

身に覚えのないものは、連絡せず、無視しましょう。万が一、連絡してしまった場合は「窓口にご相談してから対応します」と答え、当窓口すぐに相談してください。

## 不当請求の場合

たとえ契約が成立していても、錯誤無効（無料と誤解していた）と言える場合があります。  
※ネットプリカ（ギフト券など）の番号は絶対に教えず、現金も送らず、まずはご相談ください。

## 【問い合わせ先】

大洲市消費生活相談窓口

☎241790

## 【相談受付時間】

平日 午前9時～正午  
午後1時～5時

## カメルーン便り 第四巻

青年海外協力隊 梶田 真緒 さん

ボンジュール。大洲のみなさん、いかがお過ごしですか。今月もやってきました、梶田のカメルーン便りです。今回の内容はズバリ、カメルーンの魅力について紹介させていただきますね。

カメルーンというと、どういったイメージを持ちますか。きっと、サッカーが上手、黒人、暑いなどといったイメージでしょう。あながち間違っていないかもしれませんが、今回はもっと詳しくカメルーンについて一緒に学びましょう。これを読み終わったとき、あなたはカメルーンマスターになれるはず。

カメルーンは、赤土の大地はもちろん、山もあり海もあり、自然豊かな素敵な国で、アフリカの縮図とも呼ばれます。まず初めに紹介するのは、西海岸の北にそびえ、西アフリカ最高峰といわれる「カメルーン山(4,095m)」です。3月にある休みを利用して、2泊3日コースで登山に挑戦してきました。無事下山することができましたが、本当にきつかったです。しかし、草木の生い茂った森や、火山灰の積もった場所、噴火口付近、ごつごつの岩、草原のような場所、本当にさまざまな景色を堪能でき、心も体もリフレッシュできました。登山コースやガイドなどがきちんと整備され、エコツーリズムとして上手に機能しているの、登山好きの人にお勧めです。

山の次は海です。南地方のクリビという場所は、海があり観光地として有名です。ここには日本の支援で作られた漁業センターがあり、新鮮な魚介類を堪能することができます。ぶりぶりのエビや大きなカニが並んでいて、その場で調理してもらい、食べられます。魚介類を満喫した後、海で泳ぐ。海が大好きなあなた、お勧めですよ。

次に紹介するのはピグミー族です。名前を耳にしたことがある人もいるのではないのでしょうか。とても小柄な民族ですが、その小柄な体とはかけ離れ、たくましく、強く、支えあって生活しているようです。快く歓迎してくれるので、ぜひ行きましょう。

ああ、もっともっとカメルーンの魅力について書きたいところですが、今回はここまでです。私の任期も気づけばあと1年となってしまいましたが、カメルーンのために自分にできることを一生懸命して、この2年間の活動を日本に何らかの形で還元できるよう、残りの1年間駆け抜けていきます。

それではみなさん、  
A bien têt. (近いうちに)



カメルーン山から見た夕日

## 〈さっぱりナスの梅醤油かけ〉



(材料2人分)

ナス	80g (小1本)	A {	だし汁 (かつお)	小さじ2
油	小さじ1		梅肉	小さじ1/2
青シソ	2枚		しょうゆ	小さじ1
炒りゴマ	少々		酒	小さじ1/2
			みりん	少々

## 作り方

- ① ナスはヘタを切り落とし長さ5cmの拍子木切りにし、水につけておく。
- ② ペーパータオルなどで①の水気をしっかり拭き取り、少量の油を熱したフライパンで火が通るまで炒める。
- ③ ②を器に盛り、刻んだ青シソと炒りゴマを飾り、合わせておいたAの調味料をかける。  
※お好みで、わさびを添えてもよい。

【レシピ提供：大洲市保健センター】

## ーナスを選ぶ時のポイントー

- ▽実がふっくらして、首までしっかりと太っているもの。
- ▽ヘタの色が黒く筋が見え、とげが痛いぐらいのもの。
- ▽皮の色が濃く、ツヤがあるもの。
- ▽触ると弾力があり、重量感のあるもの。

## 大洲商工会議所青年部 大洲ご当地クイズ

秋風が心地よい季節となりました。青年部は毎年8月下旬に行われる大洲の恒例イベント、いもたき初煮会で模擬店を出店しています。

大洲いもたきのおいしさの鍵は、何ととってもサトイモです。過去の肱川の氾濫で、大量の川砂が堆積した水はけの良い砂地で育てるサトイモは、とろりとして粘りがあり、そのおいしさで毎年私たちを楽しませてくれます。家族や仲間が集まった際は、いもたきを楽しんでみてはいかがでしょうか。

## 【先月号のクイズの解答・解説】

えひめYOSAKOI祭りをスタートさせたのは、次のうちのどの団体でしょうか。

- ① 大洲商工会青年部
- ② 大洲商工会議所青年部
- ③ 大洲青年会議所

答え…②大洲商工会議所青年部

解説…今年で13回目を迎えたえひめYOSAKOI祭りは、大洲商工会議所青年部がスタートさせたお祭りです。現在は、えひめYOSAKOI祭り振興会を立ち上げ、青年部メンバーをはじめ、たくさんの人のおかげで祭りが開催されています。



※今月のクイズの答えは、広報大洲10月号に掲載します。

## 【今月のクイズ】

大洲で古くから作られてきた品種で、現在多く栽培されているサトイモは次のうちどれでしょう。

- ① いよびじん 伊予美人
- ② はすほいも 蓮葉芋
- ③ おんなわせ 女早生

